

マルチメディア

ユーザガイド

© Copyright 2006 Hewlett-Packard
Development Company, L.P.

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の
米国およびその他の国における登録商標で
す。

本書の内容は、将来予告なしに変更される
ことがあります。HP 製品およびサービスに
関する保証は、当該製品およびサービスに
付属の保証規定に明示的に記載されている
ものに限られます。本書のいかなる内容
も、当該保証に新たに保証を追加するもの
ではありません。本書に記載されている製
品情報は、日本国内で販売されていないも
のも含まれている場合があります。本書の
内容につきましては万全を期しております
が、本書の技術的あるいは校正上の誤り、
省略に対して責任を負いかねますのでご了
承ください。

初版：2006 年 9 月

製品番号：430100-291

目次

1 マルチメディア ハードウェアの使用

オーディオ機能の使用	1
オーディオ入力（マイク）コネクタの使用	3
オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタの使用	3
S/PDIF デジタル オーディオの使用（一部のモデルのみ）	3
音量の調整	4
QuickPlay ボタンの使用	5
メディア ボタン- QuickPlay インストール済み	5
メディア ボタン- QuickPlay 未インストール	5
DVD ボタン- QuickPlay インストール済み	6
DVD ボタン- QuickPlay 未インストール	6
ビデオ機能の使用	7
外付けモニター ポートの使用	7
S ビデオ出力コネクタの使用	8
カメラの使用（一部のモデルのみ）	9
ビデオのキャプチャとストリーミング	10
ビデオのキャプチャ	10
インスタント メッセージ プログラムを使用したビデオのストリーミング	10
内蔵カメラを使用した静止画像の撮影	11
カメラのプロパティの調整	11
オプティカル ドライブの使用	13
取り付けられているオプティカル ディスク ドライブの確認	13
オプティカル ディスクの挿入	13
バッテリー電源または外部電源使用時のオプティカル ディスクの取り出し	14
電源切断時のオプティカル ディスクの取り出し	15
メディア アクティビティ機能の使用	16
メディア アクティビティ ホットキーの使用	16
メディア アクティビティ ボタンの使用（一部のモデルのみ）	17
前/巻き戻しボタン	17
再生/一時停止ボタン	17
次/早送りボタン	18
停止ボタン	18

2 マルチメディア ソフトウェアの操作

プリインストールされたマルチメディア ソフトウェアを開く	20
ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール	20
マルチメディア ソフトウェアの使用	20
再生時の破損からの保護	21

DVD 地域設定の変更	22
著作権に関する警告	22

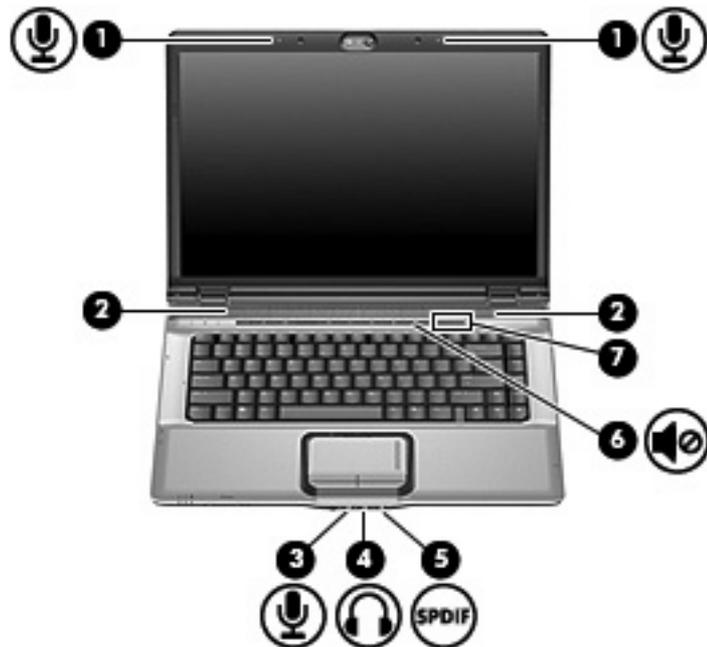
索引	23
-----------------	-----------

1 マルチメディア ハードウェアの使用

オーディオ機能の使用

次の図と表で、お買い上げのコンピュータのオーディオ機能について説明します。

 **注記** お使いのコンピュータの外観は、図と多少異なる場合があります。



名称	説明
(1) 内蔵マイク (×2) (一部のモデルのみ)	サウンドを録音します  注記 それぞれのマイク開口部の横のマイクアイコンは、コンピュータにマイクが内蔵されていることを示しています
(2) スピーカ (×2)	サウンドを出力します
(3) オーディオ入力 (マイク) コネクタ	別売のコンピュータ用ヘッドセットのマイク、ステレオアレイマイク、またはモノラルマイクを接続します
(4) オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタ	別売の電源付きステレオスピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、テレビオーディオなどを接続します

名称	説明
(5) オーディオ出力（ヘッドフォン）S/PDIF コネクタ（一部のモデルのみ）	サラウンドサウンドや他の高性能オーディオ出力などのオーディオパフォーマンスが向上します
(6) ミュート ボタン	システムの音量を消音（ミュート）および復元します
(7) 音量調整スライダ	スピーカの音量を調整します。左にスライドすると音量が下がり、右にスライドすると音量が上がります。調節スライダのマイナス記号をタップして音量を下げたり、プラス記号をタップして音量を上げたりすることもできます

オーディオ入力（マイク）コネクタの使用

コンピュータは、ステレオ アレイまたはモノラル マイクに対応するステレオ（デュアル チャネル）を備えています。サウンド録音ソフトウェアに外付けマイクを使用すると、ステレオを録音できません。

マイクをマイク コネクタに接続する場合、3.5 mm プラグのマイクを使用してください。

オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタの使用



警告！ 突然大きな音が出て耳を痛めることがないように、音量の調整を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。



注意 外付け機器の損傷を防ぐため、モノラル チャネル コネクタをヘッドフォン コネクタに差し込まないでください。

ヘッドフォン コネクタはテレビや VCR などのオーディオ/ビデオ デバイスのオーディオ入力機能の接続にも使われます。

ヘッドフォン コネクタへの接続には 3.5 mm のステレオ プラグ以外は使用しないでください。

ヘッドフォン コネクタに機器を接続すると、スピーカは無効になります。

S/PDIF デジタル オーディオの使用（一部のモデルのみ）

S/PDIF（Sony/Phillips Digital Interface）またはデジタル オーディオを使用すると、サラウンド サウンドやその他の高機能オーディオ出力など、より高いオーディオ性能が楽しめます。

デジタル オーディオを接続するには、S/PDIF デジタル オーディオ プラグをオーディオまたはビデオ機器のデジタル オーディオ コネクタに接続します。

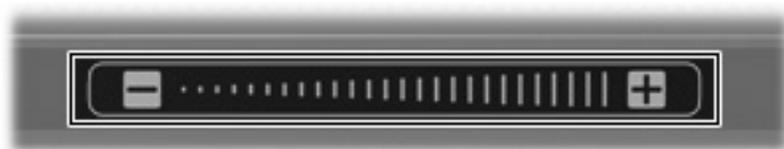


注記 S/PDIF でヘッドフォン コネクタを使用するには、別売のミニ TOS リンク ケーブルやアダプタが必要です。

音量の調整

次のどれかを使用して、音量を調節できます。

- コンピュータ本体の音量ボタン：
 - 消音したり音量を元に戻したりするには、ミュート ボタンを押します。
 - 音量を下げるには、音量調整スライダを右から左にスライドさせます。
 - 音量を上げるには、音量調整スライダを左から右にスライドさせます。



- Microsoft® Windows®の[ボリュームコントロール]：
 - a. タスクバーの右端にある通知領域の[音量]アイコンをクリックします。
 - b. 音量を上げたり、下げたりするには、スライダを上下に移動します。[ミュート]チェック ボックスにチェックを入れてミュートします。

-または-

- a. 通知領域の[音量]アイコンをダブルクリックします。
- b. [ボリューム コントロール]列で音量スライダを上下に動かして、音量を上げたり下げたりします。音量のバランスの調節や消音（ミュート）もできます。

[音量]アイコンが通知領域に表示されない場合は、次の手順で操作して表示します。

- a. [スタート]→[コントロール パネル]→[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]の順に選択します。
 - b. [音量]タブをクリックします。
 - c. [タスクバーに音量アイコンを配置する]チェック ボックスにチェックを入れます。
 - d. [適用]をクリックします。
- 音量調整のプログラム
プログラムによっては、音量調整機能を持つものもあります。

QuickPlay ボタンの使用

メディア ボタンおよび DVD ボタン（一部のモデルのみ）機能は、コンピュータにインストールされているソフトウェアによって異なります。

メディア ボタン（1）または DVD ボタン（2）を押すと、音楽を聞いたり、DVD を再生したり、映画を鑑賞したりできます。



メディア ボタン- QuickPlay インストール済み

コンピュータの電源の状態	メディア ボタンの機能
オンまたはオフ	音楽プログラムまたは[メディア]メニューを開いて、マルチメディア プログラムの選択を可能にします
	 注記 プログラムを終了するには、電源ボタンを押します
スタンバイ	スタンバイを終了します

メディア ボタン- QuickPlay 未インストール

コンピュータの電源の状態	メディア ボタンの機能
オン	初期設定のメディア再生用プログラムを開きます
オフ	何も変化しません
スタンバイ	スタンバイを終了します
	 注記 メディア ボタンは、ハイパネーションからの復帰手順には影響を及ぼしません。

DVD ボタン- QuickPlay インストール済み

コンピュータの電源の状態	DVD ボタンの機能
オン	初期設定の DVD プログラムを開いてオプティカルドライブ内の DVD を再生できます  注記 プログラムを終了するには、電源ボタンを押します
オフ	QuickPlay が開いて、オプティカルドライブで DVD を再生できます  注記 QuickPlay を終了するには、電源ボタンを押します
スタンバイ	スタンバイを終了します

DVD ボタン- QuickPlay 未インストール

コンピュータの電源の状態	DVD ボタンの機能
オン	初期設定の DVD プログラムを開いてオプティカルドライブ内の DVD を再生できます
オフ	何も変化しません
スタンバイ	スタンバイを終了します

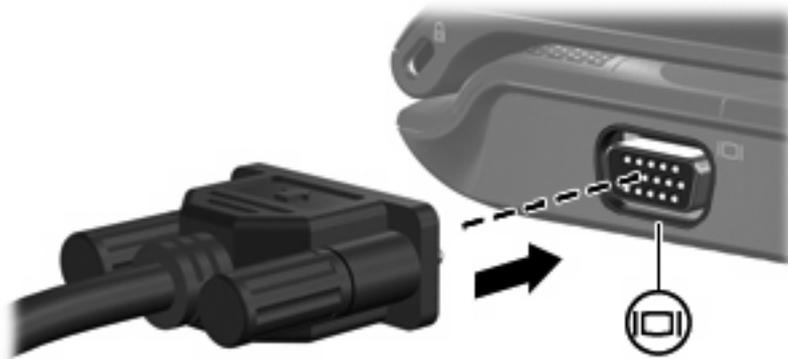
 **注記** DVD ボタンは、ハイバネーションからの復帰手順には影響を及ぼしません。

ビデオ機能の使用

外付けモニター ポートの使用

外付けモニター ポートは、テレビ、外付けモニター、プロジェクタなどの外付けディスプレイ デバイスをコンピュータに接続するためのポートです。

ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイスのケーブルを外付けモニター ポートに接続します。



注記 外付けディスプレイ デバイスを正しく接続しても画面が表示されない場合は、**fn+f4** キーを押して、ディスプレイ デバイスに画面を切り替えます。

S ビデオ出力コネクタの使用

このコンピュータの7ピンのSビデオ出力コネクタには、テレビ、ビデオデッキ、ビデオカメラ、オーバーヘッドプロジェクタ（OHP）、ビデオキャプチャカードなどの別売のSビデオ機器を接続できます。

Sビデオ出力コネクタ経由でビデオ信号を送信するには、一般の電化製品販売店で入手可能なSビデオケーブルが必要です。DVDの動画をコンピュータで再生してテレビに表示するなど、オーディオ機能とビデオ機能を組み合わせる場合は、ヘッドフォンコネクタに接続するため、一般の電化製品販売店で入手可能な標準のオーディオケーブルが必要です。

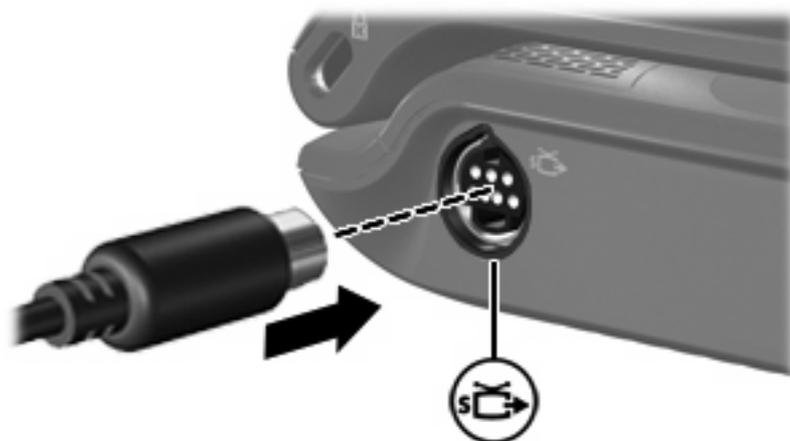
このコンピュータのSビデオ出力コネクタには、1台のSビデオ機器を接続できます。その際、コンピュータのディスプレイとその他のサポートされている外付けディスプレイに、画面を同時に表示できます。



注記 Sビデオの接続では、コンポジットビデオ接続よりも高い画質が得られます。

ビデオ機器をSビデオ出力コネクタに接続するには、以下の手順で操作します。

1. Sビデオケーブルの一方の端をコンピュータのSビデオ出力コネクタに接続します。



注記 コンピュータを別売のドッキングデバイスに装着しているためにコンピュータのSビデオ出力コネクタを使用できない場合は、ドッキングデバイスのSビデオ出力コネクタにSビデオケーブルを接続します。

2. ビデオ機器に付属の説明書に従って、ケーブルのもう一方の端をビデオ機器に接続します。
3. コンピュータに接続されているディスプレイデバイス間で画面を切り替えるには、**fn+f4** キーを押します。

カメラの使用（一部のモデルのみ）

一部のコンピュータ モデルには、ディスプレイの上部にカメラが内蔵されています。さまざまなソフトウェアと共にこのカメラを使用すると、次のような機能を使用できます。

- ビデオのキャプチャ
- インスタントメッセージ ソフトウェアを使用したビデオのストリーミング
- 静止画像の撮影

カメラ ランプ (1) は、ビデオ ソフトウェアがカメラ (2) にアクセスすると点灯します。



パフォーマンスを最適にするために、内蔵カメラを使用するときには次のガイドラインに従ってください。

- ビデオ チャットを行う前に、インスタントメッセージ プログラムが最新のバージョンであることを確認してください。
- 一部のネットワーク ファイアウォール間では、内蔵カメラが正しく動作しないことがあります。他の LAN またはネットワーク ファイアウォールの外の人との間でビデオの表示や送信に問題がある場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
- できる限り、カメラの背後の画面領域外に明るい光源を置いてください。

ビデオのキャプチャとストリーミング

次の例では、ある特定のソフトウェアを使用した場合のカメラの各機能の使い方について説明します。コンピュータによっては、このソフトウェアを使用できないこともあります。お使いのコンピュータにインストールされているビデオ ソフトウェアを探すには、**[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択します。それぞれのプログラムについて詳しくは、プログラムのヘルプを参照してください。

ビデオのキャプチャ

ビデオをキャプチャして後で再生できます。次の例では MovieMaker ソフトウェアを使用します。

1. **[スタート]→[プログラム]→[Windows MovieMaker]**の順に選択します。
2. **[Capture from Video Device]**（ビデオ デバイスからのキャプチャ）をクリックします。ビデオキャプチャ ウィザードが表示されます。
3. 使用できるデバイスの一覧から、内蔵カメラの一覧をクリックします。
4. マイクとカメラの設定を確認し、必要に応じて調整します。
5. **[次へ]**をクリックします。
6. ビデオ ファイルを保存するファイル名とパスを選択し、**[次へ]**をクリックします。
7. ビデオ設定を選択し、**[次へ]**をクリックします。
8. **[Start Capture]**（キャプチャの開始）をクリックします。録画が終了したら、**[Stop Capture]**（キャプチャの停止）をクリックします。
9. **[終了]**をクリックして、ビデオ ファイルを保存し、ウィザードを閉じます。

インスタント メッセージ プログラムを使用したビデオのストリーミング

インスタント メッセージ プログラムを使用して、リアルタイムでビデオを送信できます。次の例では Windows Messenger を使用します。

1. タスクバーの右端にある通知領域のアイコンをダブルクリックして、**[Windows Messenger]**を起動します。
2. **[Windows Messenger]**にサイン インします。
3. **[操作]→[Voice/Video]**（ボイス/ビデオ）→**[ビデオ チャットの開始]**の順に選択します。
4. 接続先の人の名前をクリックし、**[OK]**をクリックします。インスタント メッセージ ウィンドウが表示され、メッセージ領域の隣にカメラ画像が表示されます。
5. オーディオおよびビデオのチューニング ウィザードが表示された場合は、説明に沿って操作し、カメラおよびマイクの設定を調整します。

内蔵カメラを使用した静止画像の撮影

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[スキャナとカメラ]の順に選択します。
2. 内蔵カメラの一覧をダブルクリックしてから、[次へ]をクリックします。
3. [Take Picture]（撮影）をクリックします。
4. ピクチャ ウィザードの指示に従い、次のオプションを選択します。
 - Web サイトへの画像の発行
 - 画像の印刷の注文
 - コンピュータへの画像の保存

カメラのプロパティの調整

次のようなカメラのプロパティを調整できます。

- [Brightness]（輝度）-画像に組み込まれる光の量を制御します。輝度の設定が高いほど画像が明るくなり、低いほど暗くなります。
- [Contrast]（コントラスト）-画像の明るい領域と暗い領域の差を制御します。コントラスト設定が高いほど画像を強めます。低くなると元の情報のダイナミック レンジの大部分が保持されませんが、画像は平らになります。
- [Hue]（色調）-ある色を他の色と区別する色の印象を制御します（色を、赤、緑、青などとするもの）。色調は彩度とは異なります。彩度とは色調の強度を測定したものです。
- [Saturation]（彩度）-最終的な画像の色の強度を制御します。彩度の設定を高くするほど力強い画像になり、低くするほど繊細な画像になります。
- [Sharpness]（鮮明さ）-画像の端の定義を制御します。鮮明さの設定を高くするほどはっきりした画像になり、低くするほどソフトな画像になります。
- [Gamma]（ガンマ）-画像の中レベル グレーまたは中間調に影響を与えるコントラストを制御します。画像のガンマを調整すると、シャドウとハイライトを大幅に変更しないで中範囲のグレートーンの輝度の値を変更できます。ガンマ設定が低いほどグレーは黒のようになり、暗い色はさらに暗くなります。
- [White Balance]（ホワイト バランス）-主要な光源の色温度を制御します。これにより、画像内の白いオブジェクトを真に白く表示できます。[プロパティ]ダイアログ ボックスのホワイト バランス設定は、[WB (Red)]（WB（赤））および[WB (Blue)]（WB（青））として表示されます。ホワイト バランス設定が高くなるほど色が凝縮され（赤または青）、低くなるほど選択した色の凝縮度合いは下がります。
- [Exposure]（露出）-カメラ センサに入る相対光量を制御します。露出設定が高くなるほど多くの光量が入り、低くなるほど光量は少なくなります。
- [Gain]（ゲイン）-強度範囲を制御することにより、画像の色コントラストを変更します。ゲイン設定が高くなるほど強度範囲は広がり、低くなるほど縮小します。
- [Light Source]（光源）-間接照明のカメラ露出を調整する設定を制御します。
- [Flip]（フリップ）-キャプチャした画像を垂直方向に反転します。
- [Mirror]（ミラー）-キャプチャした画像を水平方向に反転します。

- [Privacy] (プライバシー) -キャプチャ機能をオフにします。
- [Low Light] (ロー ライト) -照明環境が悪い場合にフレーム レートを自動的に下げ、キャプチャした画像の輝度を保持します。

[プロパティ]ダイアログ ボックスは、内蔵カメラを使用するさまざまなプログラムから、通常は構成、設定、またはプロパティ メニューを使用して表示できます。

オプティカルドライブの使用

オプティカルドライブを使用してCDやDVDの再生、コピー、または作成が可能です。ただし、取り付けられているドライブの種類やインストールされているソフトウェアにより、できる作業は異なります。

取り付けられているオプティカルディスクドライブの確認

- ▲ [スタート]→[マイコンピュータ]の順に選択します。

コンピュータに取り付けられているオプティカルディスクドライブの種類が[リムーバブル記憶域があるデバイス]に表示されます。

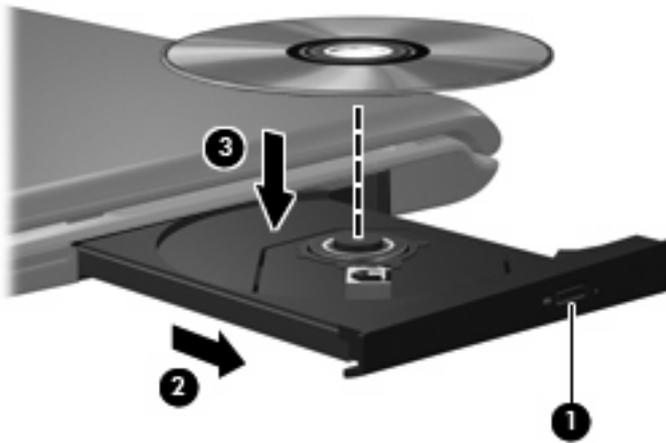
オプティカルディスクの挿入

1. コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロントパネルにあるリリースボタン(1)を押してメディアトレイを開きます。
3. トレイを引き出します(2)。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸上に置きます。



注記 トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて回転軸の上に置いてください。

5. ディスクが確実にハマるまで、トレイの回転軸上にディスクをゆっくり押し下げます(3)。



6. メディアトレイを閉じます。



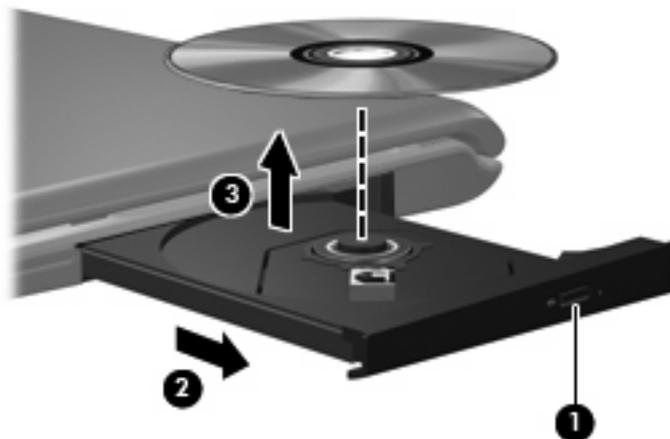
注記 ディスクを挿入した後、少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。初期設定のメディアプレーヤを選択していない場合は、[自動再生]ダイアログボックスが開き、メディアコンテンツの使用方法を選択するように要求されます。

バッテリー電源または外部電源使用時のオプティカル ディスクの取り出し

1. ドライブのフロントパネルにあるリリース ボタン (1) を押してメディア トレイを開き、トレイをゆっくり完全に引き出します (2)。
2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します (3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。



注記 トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。



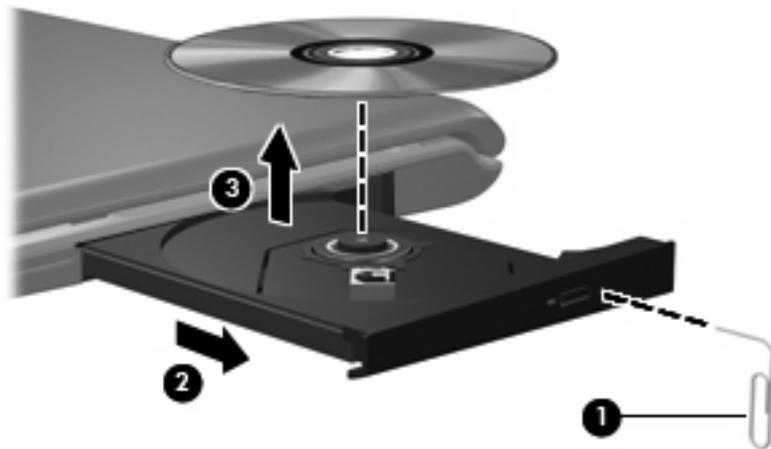
3. メディア トレイを閉じて、ディスクを保護ケースに入れます。

電源切断時のオプティカル ディスクの取り出し

1. ドライブのフロント パネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ (1) の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します (2)。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します (3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。



注記 トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出します。



4. メディア トレイを閉じて、ディスクを保護ケースに入れます。

メディア アクティビティ機能の使用

メディア アクティビティ ホットキーとメディア アクティビティ ボタン（一部のモデルのみ）は、オプティカルドライブに挿入されているオーディオ CD や DVD の再生を制御します。

メディア アクティビティ ホットキーの使用

メディア アクティビティ ホットキーは、**fn** キー（1）とファンクション キーの組み合わせです。



注記 挿入されているビデオ ディスクの再生を制御するには、ビデオ ディスク プレーヤ プログラム内のメディア制御用ボタン類を使用します。

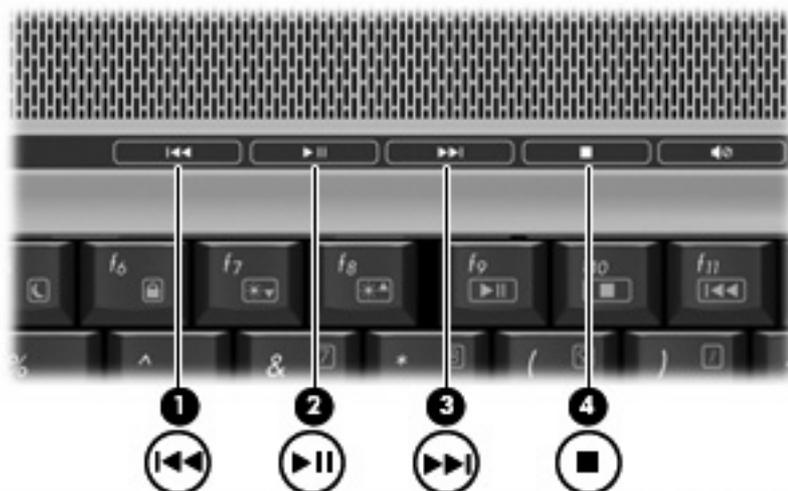
- オーディオ CD や DVD を再生、一時停止、または再開するには、**fn+f9**（2）を押します。
- 再生中のオーディオ CD または DVD を停止するには、**fn+f10**（3）を押します。
- 再生中の CD の前のトラックまたは DVD の前のチャプタを再生するには、**fn+f11**（4）を押します。
- 再生中の CD の次のトラックまたは DVD の次のチャプタを再生するには、**fn+f12**（5）を押します。



メディア アクティビティ ボタンの使用（一部のモデルのみ）

ディスクがオプティカルドライブに挿入されているときのメディア アクティビティ ボタンの機能を以下の図に示します。

- 前/巻き戻し（1）
- 再生/一時停止ボタン（2）
- 次/早送りボタン（3）
- 停止ボタン（4）



前/巻き戻しボタン

ディスクの状態	ボタン	機能
再生中	前/巻き戻しボタン	前のトラックまたはチャプタを再生します
再生中	fn + 前/巻き戻しボタン	巻き戻します

再生/一時停止ボタン

ディスクの状態	ボタン	機能
再生していない	再生/一時停止ボタン	ディスクを再生します
再生中	再生/一時停止ボタン	再生を一時停止します

次/早送りボタン

ディスクの状態	ボタン	機能
再生中	次/早送りボタン	次のトラックまたはチャプタを再生します
再生中	fn + 次/早送りボタン	早送りします

停止ボタン

ディスクの状態	ボタン	機能
再生中	停止ボタン	再生を停止します

2 マルチメディア ソフトウェアの操作

お使いのコンピュータにはマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。一部のモデルでは、付属のオプティカル ディスクに追加のマルチメディア ソフトウェアが収録されています。

コンピュータに搭載されているハードウェアおよびソフトウェアによって、次のマルチメディアに関する操作がサポートされています。

- オーディオ CD、ビデオ CD、オーディオ CD、ビデオ DVD、およびインターネット ラジオを含むデジタル メディアの再生
- データ CD の作成またはコピー
- オーディオ CD の作成、編集、および書き込み
- ビデオまたはムービーの作成、編集、および DVD またはビデオ CD への書き込み



注意 情報の消失やディスクの破損を防ぐため、以下の注意に従ってください。

ディスクに書き込む前に、コンピュータを安定した外部電源に接続してください。バッテリー電源で動作しているコンピュータでディスクに書き込まないでください。

ディスクに書き込む前に、使用しているディスク ソフトウェア以外、開いているすべてのプログラムを閉じてください。

コピー元のディスクからコピー先のディスクへ、またはネットワーク ドライブからコピー先のディスクへ直接コピーしないでください。まずコピー元のディスクまたはネットワーク ドライブからハード ドライブにコピーし、次にハード ドライブからコピー先のディスクにコピーします。

ディスクへの書き込み中にキーボードを使ったり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすいためです。



注記 コンピュータに付属のソフトウェアの使用方法については、ソフトウェアの説明書を参照してください。説明書はディスクまたは該当するプログラム内のヘルプ ファイルとして提供されます。ソフトウェアの製造元の Web サイトから説明書を入手できる場合もあります。

プリインストールされたマルチメディア ソフトウェアを開く

1. [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択します。
2. 起動するプログラムをクリックします。

ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

1. ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
2. インストール ウィザードが開いたら、画面上のインストール手順に沿って操作します。
3. 画面に指示が表示されたら、コンピュータを再起動します。

マルチメディア ソフトウェアの使用

1. [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを開きます。たとえば、Windows Media Player でオーディオ CD を再生する場合、[Windows Media Player]をクリックします。



注記 プログラムがサブフォルダに存在する場合があります。

2. オーディオ CD などのメディア ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
3. 画面の説明に沿って操作します。

-または-

1. オーディオ CD などのメディア ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
[自動再生]ダイアログ ボックスが開きます。
2. タスク一覧でマルチメディア タスクをクリックします。



注記 [自動再生]ダイアログ ボックスでは、メディア ディスク用の初期設定マルチメディア プログラムを選択できます。一覧からプログラムを選択したら、[常に選択した動作を行う]チェック ボックスにチェックを入れます。

3. [OK]をクリックします。

再生時の破損からの保護

再生時の破損のリスクを低減するには、次の手順で操作します。

- CD または DVD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じてください。
- ディスクの再生中は、ハードウェアの取り付けまたは取り外しを行わないでください。

ディスクの再生中にスタンバイまたはハイバネーションを起動しないでください。ディスクの使用中にスタンバイまたはハイバネーション状態になると、[コンピュータが休止またはスタンバイ状態になると、再生は停止します。再生を再開するには、[再生]をクリックします。コンテンツは最初から再生されます。続行しますか?]という警告が表示される場合があります。その場合は、[いいえ]をクリックします。[いいえ]をクリックすると次のようになります。

- 再生が再開します。
-または-
- 再生が停止して画面が消去されます。CD または DVD の再生に戻るには、電源ボタンを押してディスクを再起動してください。

DVD 地域設定の変更

著作権で保護されたファイルが収録されているほとんどの DVD には、地域コードが設定されています。地域コードにより著作権は国際的に保護されます。

地域コードが設定されている DVD を再生するには、その地域コードが DVD ドライブの地域の設定と一致している必要があります。



注意 DVD ドライブの地域設定を変更できるのは 5 回までです。

5 回目に選択した地域の設定が DVD ドライブの最終的な設定になります。

ドライブの地域の残り変更可能回数が**[DVD 地域]**タブの**[残り変更回数]**ボックスに表示されます。このフィールドに 5 回目に指定された値が最終的な設定になり、以後変更はできません。

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[マイ コンピュータ]**の順に選択します。
2. ウィンドウを右クリックし、**[プロパティ]**→**[ハードウェア]**タブ→**[デバイス マネージャ]**の順に選択します。
3. **[DVD/CD-ROM ドライブ]**をクリックし、地域の設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、**[プロパティ]**をクリックします。
4. **[DVD 地域]**タブで地域を変更します。
5. **[OK]**をクリックします。

著作権に関する警告

コンピュータ プログラム、フィルム、放送内容、録音内容などの著作権により保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。このコンピュータをそのような目的に使用しないでください。

索引

C

CD

- 書き込み 19
- 再生 21
- 挿入 13
- 取り出し、電源使用时 14
- 取り出し、電源切断時 15
- 保護 19

D

DVD

- DVD 地域設定の変更 22
- 書き込み 19
- 再生 21
- 挿入 13
- 取り出し、電源使用时 14
- 取り出し、電源切断時 15
- 保護 19

DVD 地域設定 22

DVD ボタン 5

Q

QuickPlay 5

QuickPlay ボタン 5

S

S/PDIF デジタル オーディオ 3

S ビデオ出力コネクタ 8

V

VCR 3

い

イヤフォン 1

お

オーディオ機能 1

オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ 1, 3

オーディオ入力（マイク）コネクタ 1, 3

オプティカル ディスク

書き込み 19

挿入 13

取り出し、電源使用时 14

取り出し、電源切断時 15

オプティカル ドライブ

再生 21

保護 19

音量調整スライダ 2, 4

音量、調整 4

か

カメラ

位置 9

静止画像の撮影 11

ビデオのキャプチャ 10

プロパティ 11

こ

コネクタ

S ビデオ出力 8

オーディオ出力（ヘッドフォン） 1, 3

オーディオ入力（マイク） 1, 3

さ

再生の保護 21

す

スピーカ 1

そ

外付けモニター ポート 7

ソフトウェア

使用 20

マルチメディア 19

ち

地域コード, DVD 22

著作権の警告 22

て

テレビ 3

ふ

プログラム

使用 20

マルチメディア 19

プロジェクタ、接続 7

へ

ヘッドフォン 1

ほ

ポート

外付けモニター 7

ボタン

DVD 5

再生/一時停止 17

次/早送り 17

停止 17

前/巻き戻し 17

ミュート 2, 4

メディア 5

ま

マイク, 対応する 3

マルチメディア ソフトウェア

使用 20

説明 19

み

ミュート ボタン 2, 4

め

メディア アクティビティ ボタン 17

メディア アクティビティ ホットキ
ー 16
メディア ボタン 5

も

モニタ、接続 7

